

【令和6年度 第1回 関係者評価委員会 議事録】

日時：令和6年 6月29日（土）10：00～11：15

●開会挨拶（理事長）

- ・この会は保護者会長や地元の方に参加していただき、「開かれた会」として、地元の声も聞ける貴重な会となっている。
- ・今年度公的機関の広島県社会福祉協議会の第三者評価を7月2日に受審する予定。

●現在の園の様子、取り組みについて（園長・各部門主幹より説明あり：別紙）

●意見交流会

- ・これから福山市の少子化に伴い、園はどのような対策（方向性）をたてて行けばよいか？
 - *わかばこども園でも2歳児は毎年少しずつ入園希望が減っている。
 - *東部は少子化が進み、園の定員を減らしている園も増えている。
- ・法成寺の子どもの数や家庭数などの現状は？
 - *宅数は増えているが子どもが増えているかは分からない。法成寺内でも、子どもが増えている所と子どもがいない所とがある。
- ・これから3～5年で人口がどう動いていくだろうか。
 - *国の政策として「だれでも通園」という対策を打ち出している。今後の課題として、どこにもつながっていない親子（妊婦～3歳児未満頃）をどうするか。どの子ども等しく教育保育を受ける権利がある。子育てのサポートをして、保護者だけでなく地域みんなで子育てしていこう、というのが「だれでも通園」のねらい。
- ・北小学校区も今後子どもが毎年減少していく可能性あり。
- ・福山市内に「あのね」（福山市主催の子育てサポートの拠点。母子手帳を発行したり、母子保健も含めてサポートしている所。）が13か所あるが、多くは周知されていない。
- ・わかばこども園でも妊婦の時から父母のサポートをしたいと考えている。父の意義ある育休をすすすためのサポートなどしたいと考えているが、妊婦さんがどこにおられるのか分からない。
- ・どうやって情報を必要な人に届けるか、が重要。知らないのはその人のせいではない。母子手帳発行する時に一連のサポートを十分お知らせする、など積極的な情報発信が必要だと思う。
 - *地域に対しての「こども園の立ち位置」を先取りしていく、等の強みを見つけてはどうか。
- ・保護者会は今年度より、保護者会費を100円値上げしているが、現状はどうか？保護者の意見としては、子どもに返す部分の質は下げないで欲しい。
 - わかばこども園は今年度より、「保護者会連合会」を退会する方向で、連合会とやり取りをしている。連合会には退会意思を伝えており、今年度分の「保護者連合会会費」の支払いもしません、と伝えてある。そのため、連合会費として計上していた約9万円を、わかばこども園の子ども達のために使えるようになるので、質を落とさず運営できると思う。

●次回、第2回関係者評価委員会：令和7年3月1日（土）10：00～予定